

アシード自社ブランドに新商品 かんきつ缶チューハイと 寒天飲料のコーヒーマ味



飲料開発・販売や自動販売機運営のアシード(株) (福山市箕島町五七二五―一、久保一史社長) は9月、自社ブランドのチューハイと寒天飲料の新商品を発売した。

2017年から展開するチューハイのブランド「アスター」に5日、「愛南ゴールドのチューハイ」Ⅱ写真上Ⅱが登場した。愛南ゴールドは愛媛県最南端の愛南町で生産されるかんきつで、苦みが少なく、グレープフルーツに似た味わいが特長。開発担当者が同町の地域おこし協力隊と連携し、生産者や町民にも試飲してもらって完成にこぎ着けた。

た。

商品は果実本来の香りを保つ「ストレート混濁果汁」を6%含み、ジュシーな甘さと爽やかな酸味を楽しめる。アルコール分は6度で、食事のお供にもぴったりとか。三五〇ミリ缶入りで希望小売価格は税込一八一円。アスターは「瀬戸内レモン」「福島もも」などの既存商品があり、年間約一六〇万本を販売する人気シリーズ。

今年4月に立ち上げた健康飲料のブランド「プリエ」からは、定番商品「ためして寒天ダイエット」のコーヒーマ味Ⅱ写真下Ⅱが13日に発売された。



同シリーズは05年発売のロングセラー。瀬戸内レモン

のエキスを使った「レモン風味」と「ぶどう風味」がある。食物繊維を手軽に摂取できる上、満腹感もある低カロリー飲料として幅広い世代から支持されてきた。

今回、大人向けフレーバーとしてコーヒーマ味をラインアップした。レタス二個分の食物繊維を含み、糖類は不使用。ヘルシーさはもちろん、コクと甘さのバランスにこだわっ

たという。

九〇〇ミリペットボトル入りで、希望小売価格は三二四円。同社は「デザートとして楽しむほか、毎日飲むコーヒーマの代わりにもなる。一本を三分とすると、一日当たり約一〇〇円で続けられます」とPRする。

いずれも、スーパー・ドラッグストアなど全国の量販店や同社ECサイトで販売する。

社会福祉法人さんよう

10周年記念誌を発行

福祉の未来考える対談も

草戸町五―八―二四、辰川和美理事長) は、このほど設立一〇周年を記念した冊子を発行したⅡ写真。A4判二〇ページでオールカラー。八〇〇部を作成した。

さんようは高齢化が進む中、介護ニーズの高まりを踏まえて2011年に社会福祉法人の認可を取得した。現在は二つの地域密着型特別養護老人ホームやグループホーム、小規模多機能ホームなど九事業所を運営している。

記念誌では一〇年間の活動を振り返るとともに、「将来



山陽病院などを運営する辰川会グループ (福山市野上町二―八―二) の一員である社会福祉法人さんよう (福山市

の福祉を考える」と題した対談も掲載した。県立広島大保健福祉学部講師の手島洋さん、福山市長寿社会応援部長の神原明子さんが、辰川理事長と看取りや認知症介護をテーマに語り合っている。

対談の中で辰川理事長は「医療(法人の辰川会)から生まれた介護事業」という強みを生かしてきた」と話した。

「福祉法人は、住み慣れた地域で暮らす地域包括ケアの中心的存在」と神原部長。「医療と介護の連携、地域をつなぐ役割が求められている」として、さんようの地域活動などを評価した。

「医療・福祉に携わる方にご一読いただきたい内容になった。非売品ですが、興味のある方はご連絡を」と辰川理事長。▽問 特別養護老人ホームくさど ☎084・973・9911

アストロクラブふくやま(児玉英夫会長) による星空観望会が10月1日19―21時、福山市緑町の緑町公園芝生広場で行われる。参加無料。悪天候の場合は中止する。▽問 ☎090・5266・6160 (辻本さん)